

令和2年10月1日

気象庁大気海洋部気候情報課

## 2週間気温予報XMLの解説

### 1 全体構成

Report

- └ Control 管理部
- └ Head ヘッダ部
- └ Body 内容部

## 2 各部の構成と内容

### (1) 管理部

#### ① 管理部の構成

##### Control

└ Title	情報名称
└ DateTime	発表時刻
└ Status	運用種別
└ EditorialOffice	編集官署名
└ PublishingOffice	発表官署名

#### ② Control 部の詳細

タグ	解説
Title	「情報名称」 電文の種別を示すための情報名称を示す。“地方季節予報（2週間気温予報）”で固定。
DateTime	「発表時刻」 発表時刻。未来時刻にはならない。 “2008-06-26T01:51:00Z”のように協定世界時で記述する。
Status	「運用種別」 本情報の位置づけ。“通常”“訓練”“試験”のいずれかを記載。“訓練”“試験”は正規の情報として利用してはならないことを示す。
EditorialOffice	「編集官署名」 実際に発表作業を行った「編集官署名」を示す。“気象庁本庁”のように記述する。
PublishingOffice	「発表官署名」 本情報を業務的に発表した「発表官署名」を示す。“気象庁”のように記述する。

## (2) ヘッダ部

### ① ヘッダ部の構成

#### Head

└ Title	標題
└ ReportDateTime	発表時刻
└ TargetDateTime	基点時刻
└ TargetDuration	基点時刻からの取りうる時間（日数）
└ EventID	識別情報
└ InfoType	情報形態
└ Serial	情報番号
└ InfoKind	スキーマの運用種別情報
└ InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョン
└ Headline	見出し要素

## ②ヘッダ部の詳細

タグ	解説
Title	<p>「標題」            情報を示す標題。具体的な内容が判別できる名称であり、可視化を目的として利用する。“2週間気温予報”と記述する。</p>
ReportDateTime	<p>「発表時刻」            本情報の公式な発表時刻を示す。“2016-10-31T14:30:00+09:00”のように日本標準時で記述する。</p>
TargetDateTime	<p>「基点時刻」            本情報の対象となる時刻・時間帯の基点時刻を示す。“2016-11-08T00:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。2週間気温予報は発表日から8日先からの予報で、「基点時刻」は発表日の8日後となる。本時刻は「日」の単位で記載する。</p>
TargetDuration	<p>「基点時刻からの取りうる時間」            情報の対象が時間幅を持つ場合、TargetDateTime を基点とした時間の幅を示す。“P5D”で、「基点時刻」（発表日の8日後）から5回分の予報であることを示す。</p>
EventID	<p>「識別情報」            2週間気温予報では要素内に何も記述しない。</p>
InfoType	<p>「情報形態」            本情報の形態を示す。“発表”“訂正”“遅延”のいずれかを記述する。</p>
Serial	<p>「情報番号」            2週間気温予報では要素内に何も記述しない。</p>
InfoKind	<p>「スキーマの運用種別情報」            同一スキーマ上における情報分類に応じた運用を示す種別情報である。“2週間気温予報”と記述する。</p>
InfoKindVersion	<p>「スキーマの運用種別情報のバージョン」            スキーマの運用種別情報におけるバージョン番号を示す。本解説のバージョン番号は“1.0_0”。</p>
Headline	<p>「見出し要素」            防災気象情報事項となる見出し要素を示す。地方2週間気温予報では何も記述しない。</p>
└ Text	<p>「見出し文」            2週間気温予報では要素内に何も記述しない。</p>

(3) 内容部

① 内容部の構成

Body

└ MeteorologicalInfos

予報の項目

└ TimeSeriesInfo

時系列情報

タグ	解説
MeteorologicalInfos	予報の項目を属性 type で指定する。属性 type は“区域予報”、“地点予報”の値をとる。“区域予報”の場合は、地域平均気温（②内容部の個別要素の詳細※1参照），“地点予報”の場合は、最高気温・最低気温に関する情報（②内容部の個別要素の詳細※2参照）を記述する。
└ TimeSeriesInfo	MeteorologicalInfos の属性 type で指定した予報を時系列情報として記述する。

## ②内容部の個別要素の詳細

### ※1 予報に関する事項（区域予報）の詳細

TimeSeriesInfo	時系列情報
└ TimeDefines	時系列の時刻定義セット
└└ TimeDefine	個々の時刻定義
└└└ DateTime	基点時刻
└└└ Duration	対象期間
└└└ Name	対象期間の内容
└ Item	※1-1 “区域予報” 参照

タグ	解説
TimeSeriesInfo	
└ TimeDefines	予報の対象期間を示すとともに、対応する要素の timeId を記述する。
└└ TimeDefine	同一 TimeSeriesInfo 内にある要素の ID(refID)に対応する ID(timeId)を記述する。
└└└ DateTime	予報対象日について記述する。“2018-11-08T00:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。 significat 属性により、この日時が「日」単位のものであることを示す。 dubious 属性により、この日付が「頃」という程度のあいまいさを持つことを示す。
└└└ Duration	予報の対象期間を示す。値「P5D」で、5日を対象とした予報であることを示す。
└└└ Name	予報の対象期間の内容を示す。予報対象日が3日頃の場合は、“1日-5日の5日間平均”のように記述する。
└ Item	予報の内容と予報区を記述する。地方予報区に含まれる発表予報区の数だけ繰り返す。※1-1参照。

※ 1 - 1 区域予報の内容

Item	予報の内容
└ Kind	個々の予報の内容
└ Property	予報要素
└ Type	気象要素名
└ ClimateValuesPart	期間平均・地域平均気温の平年偏差階級
└ Area	対象地域
└ Name	対象地域の名称
└ Code	対象地域のコード

タグ	解説
Item	
└ Kind	予報を記述する。
└ Property	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名を記述する。「地域平均気温」
└ ClimateValuesPart	期間平均・地域平均気温の平年偏差階級を記述する。
└ jmx_eb:Comparison	前後2日5日間平均・地域平均気温の平年偏差階級を-3から3の階級を記述する。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述するもので、TimeDefines で定義した timeId に対応する。属性 description には階級値の文字列表現が入る。
└ Area	予報対象地域を記述する。※
└ Name	予報対象地域（予報区）の名称を記述する。
└ Code	予報対象地域（予報区）のコードを記述する。

※ 2 週間気温予報の対象地域及び対象地域について、2 週間予報解説資料付録を参照

※2 予報に関する事項（気温などの地点予報）の詳細

- TimeSeriesInfo 時系列情報
  - └ TimeDefines 時系列の時刻定義セット
    - └ TimeDefine 個々の時刻定義
      - └ DateTime 基点時刻
      - └ Duration 対象期間
      - └ Name 対象期間の内容
  - └ Item ※2-1 “地点予報” 参照

タグ	解説
TimeSeriesInfo	
└ TimeDefines	予報の対象期間を示すとともに、対応する要素の timeId を記述する。
└└ TimeDefine	同一 TimeSeriesInfo 内にある要素の ID(refID) に対応する ID(timeId) を記述する。
└└└ DateTime	予報対象日について記述する。“2018-11-08T00:00:00+09:00” のように日本標準時で記述する。 significat 属性により、この日時が「日」単位のものであることを示す。 dubious 属性により、この日付が「頃」という程度のあいまいさを持つことを示す。
└└└ Duration	予報の対象期間を示す。値「P5D」で、5日を対象とした予報であることを示す。
└└└ Name	予報の対象期間の内容を示す。予報対象日が3日頃の場合は、“1日-5日の5日間平均”のように記述する。
└ Item	予報の内容と予報地点を記述する。発表予報地点の数だけ繰り返す。※2-1 参照。

※2-1 地点予報の内容

Item	予報の内容
└ Kind	個々の予報の内容
└ Property	予報要素
└ Type	気象要素名
└ ClimateValuesPart	期間平均の最高・最低気温及び関連する値
└ Station	対象地点
└ Name	対象地点の名称
└ Code	対象地点のコード

タグ	解説
Item	
└ Kind	予報を記述する。
└ Property	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名を記述する。ClimateValuesPartに記述する予想気温の内容を示し“最低気温”、“最低気温予測範囲”、“最低気温階級”、“最高気温”、“最高気温予測範囲”、“最高気温階級”の値をとる。
└ ClimateValuesPart	気温に関して記述する。
└ jmx_eb:Temperature	予想気温の期間平均値を記述する。Type要素の値が“最低気温”、“最低気温予測範囲”、“最高気温”、“最高気温予測範囲”の場合に出現する。属性typeの値により、予想気温の内容を期間平均値で示す。属性unitは気温の単位を示す。属性refIDは、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefinesで定義したtimeIdに対応する。属性descriptionには予報値の文字列表現が入る。
└ jmx_eb:Comparison	気温の期間平均値の予想階級を記述する。Type要素が“最低気温階級”又は“最高気温階級”の場合に出現する。期間平均した最高・最低気温の年間偏差階級を-3から3の階級を記述する。属性refIDは、予報対象日の参照番号を記述するもので、TimeDefinesで定義したtimeIdに対応する。属性descriptionには階級値の文字列表現が入る。
└ Station	予報対象地点について記述する。※
└ Name	対象地点の名称を記述する。
└ Code	対象地点のコードを記述する。

※2 週間気温予報の対象地域及び対象地点について、2週間気温予報解説資料付録を参照

※jmx\_eb:Comparison 要素による階級の記述例

例	解説
<pre> &lt;ClimateValuesPart type="地域平均気温階級"&gt; &lt;jmx_eb:Comparison type="前後2日の5日間平均・地域平均気温階級" refID="1" description="高い確率50%以上"&gt;1&lt;/jmx_eb:Comparison&gt; &lt;jmx_eb:Comparison type="前後2日の5日間平均・地域平均気温階級" refID="2" description="かなり高い確率30%以上"&gt;2&lt;/jmx_eb:Comparison&gt; &lt;jmx_eb:Comparison type="前後2日の5日間平均・地域平均気温階級" refID="3" description="高い確率50%以上"&gt;1&lt;/jmx_eb:Comparison&gt; &lt;jmx_eb:Comparison type="前後2日の5日間平均・地域平均気温階級" refID="4" description="かなり高い確率30%以上"&gt;2&lt;/jmx_eb:Comparison&gt; &lt;jmx_eb:Comparison type="前後2日の5日間平均・地域平均気温階級" refID="5" description="なし"&gt;0&lt;/jmx_eb:Comparison&gt; &lt;/ClimateValuesPart&gt; </pre>	<p>気温の階級を記述する。          気温の階級は、予想気温と、同期間における平年の気温との偏差によって算出するもので下記の通り-3から3のいずれかの値をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-3 かなり低い確率50%以上</li> <li>-2 かなり低い確率30%以上</li> <li>-1 低い確率50%以上</li> <li>0 なし（他の階級に属さない）</li> <li>1 高い確率50%以上</li> <li>2 かなり高い確率30%以上</li> <li>3 かなり高い確率50%以上</li> </ul>

※ 「最高気温」の記述例

例	解説
<pre> &lt;Property&gt; &lt;Type&gt;最高気温&lt;/Type&gt;   &lt;ClimateValuesPart type="最高気温"&gt;     &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温の前後 2 日 5 日間平均値" unit="度" refID="1" description="2 4 度"&gt;24&lt;/jmx_eb:Temperature&gt;     &lt;!-- (中略) 他の refID は省略 --&gt;   &lt;/ClimateValuesPart&gt; &lt;/Property&gt; &lt;Property&gt; &lt;Type&gt;最高気温予測範囲&lt;/Type&gt;   &lt;ClimateValuesPart type="最高気温予測範囲 (上端) "&gt;     &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温の前後 2 日 5 日間平均値の予測範囲 (上端) " unit="度" refID="1" description=" 2 7 度"&gt;27&lt;/jmx_eb:Temperature&gt;     &lt;!-- (中略) 他の refID は省略 --&gt;   &lt;/ClimateValuesPart&gt; &lt;/Property&gt; &lt;Property&gt; &lt;Type&gt;最高気温予測範囲&lt;/Type&gt;   &lt;ClimateValuesPart type="最高気温予測範囲 (下端) "&gt;     &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温の前後 2 日 5 日間平均値の予測範囲 (下端) " unit="度" refID="1" description=" 2 3 度"&gt;23&lt;/jmx_eb:Temperature&gt;     &lt;!-- (中略) 他の refID は省略 --&gt;   &lt;/ClimateValuesPart&gt; &lt;/Property&gt; </pre>	<p>最高気温・最低気温の記述には、値そのもののほか予測範囲が含まれる。気温予測範囲は、対象日の最高気温や最低気温が、どの範囲に予想されているかを示すもの。予想されている範囲を（上端）（下端）で示す。</p> <p>左の例では、発表日の 8 日先（refID="1"）の最高気温の 5 日間平均値が 24 度で、23 度～27 度の範囲に予想されていることを示す。</p>